

2 『往生論註（浄土論註）』を読む

【全12回】／開催方法：現地のみ

さい とう しゅん けん
齊 藤 舜 健

浄土宗総合研究所
主任研究員



| | | |
|-----|--------------|--------------------------|
| 受講料 | 会員料金：¥20,200 | 早割価格：¥19,200(納入期限：4月11日) |
|-----|--------------|--------------------------|

【日程】【全12回】 第1・3・5金曜日
(4/18、5/16、5/30、6/6、6/20、7/18、10/3、10/17、
10/31、11/21、12/5、12/19)

【時間】 12：30～14：00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

曇鸞『往生論註（浄土論註）』を読みます。本書は、浄土教の歴史において、易行道・難行道の二道説を立てて時と機に関して問題視し、『無量寿経』の阿弥陀仏の本願に着目して浄土往生の実践を確立した重要な著作です。中国においては道綽『安楽集』に重大な影響を与え、我が国では、源信『往生要集』、永観『往生拾因』、法然『選択集』、親鸞『教行信証』等に引用され、親鸞が自身の名に曇鸞から一字をとるほどに重要な意味をもちます。本年度は昨年度の継続で巻上の「莊嚴座功德成就」から講読します。

【参考書】

- ①曇鸞・道綽（『浄土仏教の思想』四）
著者：藤堂恭俊他 出版社：講談社 出版年：1995
- ②浄土論註（『仏典講座』二三）
著者：早島鏡正他 出版社：大蔵出版 出版年：1987